

遺跡No	遺構種別	遺構N	時期	説明	グリッド	形態	主軸	長さ	幅	深さ	付属施設	出土遺物
63-101	土坑	0001	古代	調査区の北西部に位置する。	—	円形	—	0.80	0.80	0.15	—	—
63-101	土坑	0002	古代	調査区の北部に位置する。	—	円形	—	0.60	0.45	0.20	—	—
63-101	土坑	0003	古代	調査区の中央部に位置する。	—	隅丸長方形	—	1.00	0.73	0.13	—	土師器甕
63-101	土坑	0004	古代	調査区の中央のSI1と重複する。	—	隅丸長方形	—	1.20	1.00	0.23	—	—
63-101	土坑	0005	古代	調査区の中央のSI1と重複する。	—	円形	—	0.90	0.55	0.11	—	—
63-101	土坑	0006	古代	調査区の南東部に位置する。	—	不整形	—	0.78	0.40	0.20	—	—
63-101	柱穴	0007	古代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0008	古代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0009	古代	調査区北東部のピット列	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0010	古代	調査区北東部のピット列	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0011	古代	調査区北東部のピット列	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0012	古代	竪穴建物跡周囲に散在するピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0013	古代	南東部ピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0014	古代	南東部ピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0015	古代	南東部ピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0016	古代	南東部ピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0017	古代	南東部ピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0018	古代	調査区北東部のピット列	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0019	古代	竪穴建物跡周囲に散在するピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0020	古代	竪穴建物跡周囲に散在するピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	柱穴	0021	古代	竪穴建物跡周囲に散在するピット群	—	—	—	—	—	—	—	—
63-101	竪穴建物跡	0022	古代	調査区外に広がるため詳細は確認できなかったが、2間×3間の総柱建物跡と推定される。隣接する県史跡中宿古代倉庫群跡内で検出された3・4号掘立柱建物跡と主軸方位はわずかにずれるものの、配置としては平行した位置で検出され、当該建物群に関連するものであろうと考えられる。	—	—	N-40° -W	2.30	1.80	—	—	—
63-101	竪穴建物跡	0023	古代	調査区外に広がるため詳細は確認できなかったが、2間×4間の側柱建物跡と推定される。	—	—	E-44° -N	2.90	2.20	—	—	—

63-100	古墳	0024	古墳時代	調査区内の東側に位置する。調査地の東側に所在する前方後円墳である寅稻荷古墳の前方部周溝の西端部と考えられる。今回の調査では、前方部周溝外側の西端から約2.5m、部分的には約5.75mの範囲で調査を行った。周溝は外側から約20～30cmの深さで段のようなものがあり、底に向かって緩やかに落ち込んでゆく。	—	前方後円墳	—	—	—	0.90	—	円筒埴輪、朝顔形埴輪、大刀形埴輪、器材埴輪、土師器坏、山茶碗
63-100	古墳	0025	古墳時代	調査区内の西側に位置する。周溝跡の延長が北側と南側の調査区外へ延びる。ブリッジを持たない周溝の全周するタイプの円墳と考えられる。確認面における規模は、調査範囲で周溝内径約12.6m、周溝外径約18mと推定される。墳丘盛土は既に削平されており、内部主体を確認することができなかった。墳丘部はやや歪んだ円形を呈すると推定される。周溝断面形はU字を呈し、半ばから外に開きながら立ち上がる。	—	円墳	—	—	2.30	0.70	—	円筒埴輪、大刀形埴輪
63-100	古墳	0026	古墳時代	調査区全体にかけて広がる古墳跡。墳丘及び主体部は既に削平されていることが試掘調査で判明していたため、本調査では古墳中央部は調査区外とした。検出された周溝は全体の3/4程度であり、残りの部分は調査の北東側へ続く。その形状や規模を踏まえると、墳丘長約12m前後の小型古墳であったと推定される。小規模古墳にしては周溝が深く掘りこまれており、この掘削で得られる土量は約75㎡と推定される。	—	円墳	—	12.00	2.00	1.20	—	朝顔形埴輪、円筒埴輪、形象埴輪、縄文土器